

会議録

会議の名称	平成19年度 西東京市青少年問題協議会 第3回
開催日時	平成19年11月12日（月曜日） 午前10時00分から午前11時50分まで
開催場所	インゲビル3階 第3・4会議室
出席者	委員 坂口市長、大塚委員、大松委員、木曾委員、金原委員、嶋田委員、住田委員、長坂委員、中野委員、細田委員、堀尾委員、本間委員、松澤委員、真鍋委員、森（信）委員（五十音順） 欠席 角田委員 事務局 二谷子育て支援部長、森下子育て支援課長、伊藤児童青少年課長、原児童青少年課主査、荒木調整係長、調整係主事 後藤、調整係主事 矢部
議題	1 今期の会議運営について 2 その他
会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・青少年問題協議会委員名簿 ・事務局職員名簿 ・地方青少年問題協議会法 ・西東京市青少年問題協議会条例、西東京市青少年問題協議会施行規則、西東京市青少年問題協議会の委員選出要領、西東京市青少年問題協議会傍聴要領 ・会議録様式 ・西東京市市民参加条例
記録方法	発言者の発言内容ごとの要点記録
会議内容	
<p>発言者名： 発言内容</p> <p>市長 本日は忙しい中、委嘱式ならびに協議会に参加いただき、お礼を申し上げたい。また日ごろから市政にご協力いただき感謝している。 先日行われた市民祭りのテーマは「新しいふるさとの創造」であった。子どもから大人まで約10万人が参加した。これは当協議会にも関わるテーマであると思う。 西東京市は合併して7年目を迎えるが、人口は19万人を超えるようになった。その理由として交通の便がよく、衣食住が足り、緑が多いことが挙げられている。しかし、防犯の面から考えると、人の出入りが増え、身を隠す場所があるということである。この環境の中で子どもたちを健全に育てるためには、多くの課題がある。今期については、育成指針などや取り組みについて提言いただきたい。 子どもの問題についての協議の場はあるが、その答申や提言がどのように市政に生か</p>	

されているのか、といった意見があった。どのように展開していくことが望ましいのかなど、具体的なプランと全体の評価を共有できるような取り組み方法を、ご議論願いたい。

森下課長

定刻となったので、協議会を始めたいと思う。まずは欠席者の報告と資料の説明等をしてほしい。

(欠席者報告)

(資料説明)

なお、「西東京市歩け歩け会」については育成会より、報告をいただきたい。

A委員

西東京市になり第6回目で、今年も11月3日に行われた。参加者は571名でその内4名がリタイアしたため、完歩したのは567名であった。実行委員57名、中学生ボランティア46名、高校生・大学生ボランティアが2名で、全体で685名が事業に参加した。

森下課長

それでは条例に基づき、委員の中から副会長を選出していただきたい。会長からは、会の協議で選出をお願いしたいという意向であったが、推薦があればお願いしたい。

B委員

C委員を推薦したい。

C委員

B委員を推薦したい。

森下課長

事務局としては、特に問題がなければ前期に引き続きC委員に留任をしていただければと考えている。

委員一同

異議なし。

森下課長

承認いただいたので、C委員に引き続きお願いしたい。なお、「副会長」を会の進行の便宜上「座長」と呼ばせていただきたい。

座長

一言ご挨拶させていただきたい。今期も副会長に指名されたが、今までもみなさまの力で運営できたと思っているので、引き続きみなさまのご協力をお願いしたい。

森下課長

続いて、職務代理者の指名であるが、先ほどと同様に会長から、会の協議で選出をお願いしたいという意向であった。推薦があればお願いしたい。

座長

私は前期に引き続き、B委員をお願いしたい。

委員一同

異議なし。

座長

それでは前期同様に、B委員をお願いしたいと思う。

森下課長

それでは進行を座長をお願いしたい。

座長

まず、座席の順番についてであるが、事務局より説明願いたい。

事務局

現在は会長・副会長以下は時計回りで五十音順となっているが、よろしいか。

座長

現在の席順でよろしいか。

委員一同

異議なし。

座長

それではこの通りとしたい。つづいて、会議運営についてであるが、事務局より説明願いたい。

事務局

会議は原則公開となっているため、傍聴が可能である。会議の資料を作成することを考えると概ね5名程度とさせていただきたい。また会議録を作成し、公開しなければならないため、前期と同様「発言者の発言内容ごとの要点記録」とさせていただきたい。

座長

傍聴は5名程度でよろしいか。

委員一同

異議なし。

座長

それではその通りとしたい。会議録については、一期目には発言者の名前を載せていたが、委員の中から「非常に発言しづらい」というご意見があり、二期目から名前を伏せて公開している。

私が考えていることであるが、事務局で要点記録とすることが難しいのではないか。

「発言者ごと」ではなく、「会議内容の要点記録」とすることはできないのか。

B委員

「会議内容の要点記録」であると、発言者がわからなくなる。どのようなやり取りがあったのかを市民が知りたいのではないか。それを考えると「発言者ごと」で行うべきと考える。

事務局

通常は「発言者ごと」となっている。

座長

それでは前期と同じように、「発言者の発言内容ごとの要点記録」とし、内容の確認方法として、まず「会議録案」として委員に送付し、訂正後に「最終稿」として再度委員に送付して、次の協議会で承認するという方法でいかがか。

委員一同

異議なし。

座長

それでは前期と同様とさせていただきたい。

事務局

会議の運営についての取り決めは以上である。

座長

それでは議題に入る前にお願いであるが、必ず発言をしてお帰りいただきたい。議題

については議事録を取るため、オフレコの部分があれば、そのように事前に申し出をいただきたい。申し出があった場合は会議録から削除させていただく。

また、会議終了後は情報交換の場とし、会議録には載せないで、ぜひさまざまな情報を交換していきたいと思う。

議題に入る前に、前回の会議録の承認を行いたい。

委員一同

異議なし。

座長

それでは承認させていただく。つづいて議題に移りたい。「今期の会議運営について」であるが、第一期目は「西東京市の青少年健全育成のあり方について」の諮問があり、答申を行った。第二期目は「西東京市の青少年の非行防止について」であるが、西東京市の青少年の犯罪検挙件数が、都内の警察署の中でも上位にあることから、協議し提言を行った。第三期目であるが、今まで答申や提言をしてきた中で、「『西東京市子育て支援計画』の施策と照らし合わせて、進捗状況が調査できないか」という意見があり、調べた。その調査の中で、西東京市の青少年育成のビジョンが見えないという意見があり、「西東京市の青少年像」として提言した。第四期目に取り上げることについて、ご意見をいただきたい。

B委員

第一期目から参加しているが、西東京市の青少年のどこに問題があるのかが見えていない。一握りの子どもたちが非行に走っている。その子どもには家族があるが、容易に踏み込むことはできない。だからといって放置できるものではない。みなさんが同じ悩みを抱えていると思う。その課題について掘り下げていけば、何かが見えてくるのではないか。

非行に走る子どもを「補導する」などをしただけでは、解決にならない。家庭の環境が重要で、西東京市でも全体にそういった意識が必要だと思う。自分に振りかからないことは、見て見ぬふりをする大人が多すぎる。関係機関の方もいらっしゃるので、ご意見を伺いたい。

座長

青少年の本当の問題点とは何かということ、考えさせられている。西東京市を知ること必要と思う。

B委員

学校では、実際に特定の子どものために苦労しているようである。だからと言って、ただ出席停止にするだけでは、根本的な解決にはならない。だが、学校も困っている現状である。

D委員

最近文部科学省から通知があるなど、出席停止については流れが変わってきている。ただ、出席停止の措置をとっても、家庭が積極的に子どもの保護・監督をしなければ、問題の解決は難しい。しかし、家庭で監督できる状況でないことが多い。学校に来ていれば目が届き、関係を築ける。ジレンマを感じている。

座長

議題ではなく、情報交換としてもう少し意見を出してから、次回の協議会までに議題を決めていくことでもよろしいか。

委員一同

異議なし。

座長

それでは、この後は情報交換とさせていただきたい。

各委員の情報交換

以上にて終了。